3. 準備投球

(1) 準備投球は、初回と投手が交代したとき、１分間を限度とし５球以内で、次回からは３０秒を限度とし３球以内である。
注) 規定外の投球をした場合は１球ごとにワンボールが宣告される。

(2) 同一イニング中に、いったん交代した投手が再び投手に戻るときは、準備投球は認められない。
注) 規定外の投球をした場合は１球ごとにワンボールが宣告される。

4. 無効投球

つぎの場合、球審は無効投球を宣告し投球のやり直しをする。これに伴うプレイはすべて無効である。

(1) ボールデッド（試合停止）中に投球したとき。

(2) キッカーがキッカーズボックスに入っていないとき、またはキック姿勢でないときの投球。

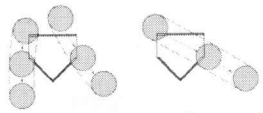
(3) ランナーが離塁アウトを宣告されたときの投球。

5. ストライク

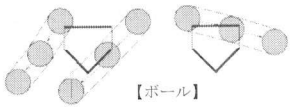
ストライクとは、投手がキッカーに対し、正しい投球をした場合で、次のものをいう。

(1) 正しく投球されたボールが本塁ベースに触れ、かつ前辺と下辺(V字)双方を通過したとき。ただし、ボールの下が本塁ベース上１０cm未満の上空を通過したものは本塁ベースに触れたものとみなす。【図 9・図 10】

注)投球は上部からの投影でボールの外周がベースの上空を通過したものは本塁ベースに触れたものとする。

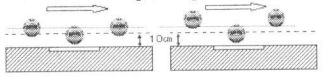


【ストライク】



【ボール】

【図 9】



【ストライク】 【ボール】

【図 10】

(2) キッカーが投球を空振りしたとき。

注) 空振りとはキックする意志をもって蹴り足が軸足より前に出た場合をいう。また、ボールが膝頭より上部に当たった場合は空振りとする。（膝頭も含む）

(3) キッカーがキッカーズボックス内でキックする意志がなく、投球が膝下の足部に触れたとき。（ボールデッド）

注) 第２ストライク後は第３ストライクとなりアウトである。（不正投球の場合は除く）

(4) ツーストライク未満でファウルキックしたとき。

(5) キッカーが１０秒以内にキック姿勢をとらなかったとき。

6. ボール

(1) ボールとは、投手がキッカーに対して、投球または投球しようとした場合で、つぎのものをいう。

a) 正しく投球されたボールがストライクゾーンを通過しなかったもので、かつキッカーズボックスのキッカーにも触れなかったとき。
　なお、投球が本塁ベース上をバウンドしながら通過するとき本塁ベースに触れても、バウンドの高さが 10 cm以上離れたときはボールとなる。

b) 不正投球が宣告されたとき。

c) 準備投球が規定の投球数を超えたときは、１球ごとにワンボールが宣告される。

d) キッカーが投球に触れるのを避けようとして、キッカーズボックス外に出て、ボールの投球がキッカーの身体に触れたとき。

(2)　つぎの場合は、キッカーにワンボールが与えられる。

a)　捕手がぐずぐずしていて、投手への返球を故意に遅らせたとき。

b)　投手が、投球のためボールを手にし、20秒以内に投球動作をしなかったとき。

第8章　守　備

1.　守備位置

(1)　守備側チームのプレイヤーは、投球時、捕手を除き、キック制限区域以外のフェア地域なら、どこに位置してもよい。

(2)　投手がキッカーに投球する場合、捕手はその投球されたボールが投手の手から離れるまで、たとえ片足でも捕手席から出てはいけない。　(不正投球)

2.　禁止事項

(1)　ボールを持たないとき、またはキックボールおよび送球の処理をしようとしていないときは、ランナーに走路をあけわたさなければならない。　(走塁妨害)

(2)　ボールを持ってランナーにタッチしようとしているときでも、塁の前縁の一部は空けなければならない。　(走塁妨害)

(3)　守備者は、スリーフットレーン内において、キッカーランナーが接近しているときは、捕球動作に関係なく、レーンを明け渡さなければならない。ただし、タッチプレイは除く。

(4)　投手が投球動作を開始後、キッカーがキックするまで野手はキック制限区域に入ってはならない。

(5)　用具を競技場内に放置してはならない。

3.　アピールプレイ

アピールプレイとは、審判員が監督またはプレイヤーに要求されるまで、判定を下すことができないプレイをいう。

アピールプレイは、投手がつぎの投球動作に入る前までに行わなければならない。その投球動作は必ずしも、正しい投球でなくてもよい。アピールはインプレイ中、ボールデッド中でもできる。

(1)　アピールプレイの生じるとき・アピールの仕方